

“UNIT ASIA”

JAPAN TOUR 2009

from Southeast Asia Tour



東南アジアを巻き込んだ
熱狂の渦に5カ国を
強力ユニット“UNIT ASIA”
日本でのDebut Liveを敢行!!

“UNIT ASIA”

三好 功郎 Isao Miyoshi (Guitars)

コー・Mr. サックスマン Koh Mr. Saxman (Saxophone) *Thailand

テイ・チャー・シアン Tay Cher Siang (Piano) *Malaysia

一本 茂樹 Shigeki Ippon (Bass)

則竹 裕之 Hiroyuki Noritake (Drums)

デビュー・アルバム

“UNIT ASIA Southeast Asia Tour 2008”を
2008年2月、発売予定!!

2月17日[火] 京都 / Live Spot RAG

開場18:00 開演19:30

料金: 前売¥4,500 / 当日¥5,000 (ドリンク別)

◆チケット: 12/26日(金)より下記にて発売開始

チケットぴあ Tel.0570-02-9999 (Pコード: 312-536)

ローソンチケット Tel.0570-000-407 (Lコード: 55799)

RAG Tel.075-241-0446

◆問合せ: ラグインターナショナルミュージック Tel.075-255-7273

<http://www.ragnet.co.jp>

2月18日[水] 名古屋 / TOKUZO (得三)

開場18:00 開演19:00

料金: 前売¥4,500 / 当日¥5,000 (ドリンク別)

◆チケット: 12/20日(土)より下記にて発売開始

チケットぴあ Tel.0570-02-9999 (Pコード: 311-786)

TOKUZO

◆問合せ: TOKUZO Tel.052-733-3709 info@tokuzo.com <http://tokuzo.com/>

2月20日[金] 東京 / アムラックス・ホール (池袋/トヨタアムラックス5F)

開場18:30 開演19:00

料金: 前売¥4,500 / 当日¥5,000 (全席自由・税込)

◆チケット: 12/26日(金)より下記にて発売開始

東京音協 Tel.03-3201-8116 <http://www.t-onkyo.jp>

チケットぴあ Tel.0570-02-9999 (Pコード: 312-265)

e+ (イープラス) <http://eplus.jp/>、プラネットアーツ

◆問合せ: プラネットアーツ Tel.03-5428-3211 <http://www.planet-arts.co.jp>

◆協力: 東京音協、株式会社アムラックストヨタ

■主催: 国際交流基金、プラネットアーツ

■制作: プラネットアーツ Tel.03-5428-3211 <http://www.planet-arts.co.jp>

■協力: YAMAHA

“UNIT ASIA” JAPAN TOUR 2009

from Southeast Asia Tour

2008年10月中旬から約1カ月間、国際交流基金の主催により日本の3人の気鋭のミュージシャン、三好功郎 (Gt)、則竹裕之 (Ds)、一本茂樹 (B) に、タイの第一線で活躍するサクソプレーヤー、コー・Mr. サックスマン、そしてマレーシアの新進気鋭のピアニスト、テイ・チャー・シアンという5人の個性豊かなミュージシャンたちにより新たに結成されたグループ“UNIT ASIA”のコンサート・ツアーを、東南アジア5カ国 (シンガポール、フィリピン、ブルネイ、マレーシア、タイ) で開催。コンサートを重ねることに進化を遂げた“UNIT ASIA”は、圧倒的なエネルギーと躍動感に溢れたステージを繰り広げ、各地でスタンディング・オベーションが起こるほどの熱狂的な盛り上がりで迎えられて、各国のメディアからも大絶賛を博してまいりました。

東南アジア各地を熱狂の渦に巻き込んだステージをそのままに、日本でのデビュー・ライブ (帰国公演) を敢行致します。



三好“3吉” 功郎 Isao Miyoshi

✳Guitar

1960年生まれ。高校在学中にギターを始め、大学入学後、ジャズに興味を持つ。83年、自己のバンド「3吉バンド」でデビュー後、本田竹曠 (p)、P. ジャクソン (b)、梅津和時 (as)、桜井哲夫 (b) 等々、様々なグループのギタリストとして活躍する。92年から、より自由なギター・トリオのスタイルを目指し、村上“ボンタ”秀一 (drs)、坂井紅介 (b) と「3吉・ボンタUNIT」を結成しライブ活動を展開、95年には同トリオにて初リーダーアルバム「サンキチズム」発表、ジャズギター・トリオの概念を

破る傑作と、各方面より絶賛される。96年、2ndアルバム「パイナップル・アイランド」を盟友、塩谷哲 (p)、ヤヒロトモヒロ (perc) 等と録音。また、98年発表の3枚目のリーダーアルバム「ユア・スマイル」では長年の夢であったNo.1ハーモニカ奏者、トゥーツ・シールマンとの共演を果たす。ギタートリオでの活動と並行して2000年、仙波清彦 (perc)、小野塚晃 (kb)、バカボン鈴木 (b)、鶴谷智生 (drs) からなるユニット「SURPRISE」を結成、03年アルバム「SURPRISE」発表、06年には同ユニットのピアニスト小野塚とのアコースティック・デュオ・アルバム「First Touch」を発表する。また、国内での活発な活動の傍ら、米国、欧州をはじめタイ、ミャンマー、インド、韓国他アジア諸国でのツアーを行うなど海外公演も数多く、各地で好評を博している。99年よりポップフィールドでの活動も広げ始め、矢沢永吉 (vo)、森山良子 (vo) のコンサート・ツアーでは音楽的な中核を担い、大きな信頼を得ている。卓越したテクニックと豊かな音楽性を備えた日本ジャズ・シーンの中心的なミュージシャンの一人として大きな期待を集める。



一本茂樹 Shigeki Ippon

✳Bass

1971年生まれ。東京芸術大学在学中に永島義男氏に師事、研鑽を積む。

2000年、同学卒業と同時にプロとして活動始める。これまで、仙波清彦 (perc)、三好功郎 (gt)、ゴンチチ、溝口肇 (vc)、葉加瀬太郎 (vn)、平原綾香 (vo) など多彩なアーティストのライブやコンサートに参加、またCMやTV、J-POPのアーティストなど数多くのレコーディングに参加する一方、「ライオンキング」(劇団四季)、「オケビ」(三谷幸喜脚本) 等の舞台にミュージシャンとして出演するなど多岐にわたり活躍中。コントラバスとエレクトリックベースを自在に操り、クラシックからジャズ、ポップスまで幅広い音楽性と卓越した演奏力で躍進めざましい次代を担うアーティストの一人である。



則竹 裕之 Hiroyuki Noritake

✳Drums

1964年生まれ。幼少の頃よりドラムを始め、あらゆるドラミング・スタイルの習得に少年時代を費やす。神戸大学在学中の85年「THE SQUARE」に加入し、プロデビュー。同グループ在籍中、全米ツアーや海外レコーディングなど数々の経験を重ねながら、様々なアーティストのライブやレコーディングにも参加。日本人グループとして初の米国「PLAYBOY JAZZ FESTIVAL」への出演、94年には日本人として初の政府公認による韓国公演を果たす。また10回に及ぶ日本ゴールドディスク大賞

(JAZZ部門) 受賞等その活動は国内外に広く評価された。99年ソノアルバム「DREAMS CAN GO」を発表し、メロディ・メーカーとしての才能も遺憾なく発揮。2000年「THE SQUARE」を退団。その後は稲垣潤一、大橋純子、Misia、AKIKOなどJ-Popアーティストのレコーディングやライブをサポートし、ジャズ・フュージョンの枠に留まらない幅広い活動を展開している。02年にはフランス・パリにて佐渡裕指揮コンセル・ラムルー管弦楽団ガラコンサートにゲストとして出演し、その演奏は高く評価された。その後も関西フィルハーモニー管弦楽団、京都市交響楽団、シエナウインドオーケストラと共演する等、ジャンルを問わず柔軟に変化する色彩豊かなドラミングは各方面から絶大な信頼を寄せられている。04年神保彰とのツイン・ドラムユニット「Synchronized DNA」を結成。世界でも例をみないドラムだけのユニットとして今後の展開に注目が集まる。



コー・Mr. サックスマン Koh Mr. Saxman

✳Saxophone (Thailand)

1973年生まれ。チュラロンコン大学教育学部出身。幼い頃より「クルイ」(タイの伝統的な木管楽器) を父の下で学び、スクールバンドではさまざまな楽器に触れ、高校時代にサクソに深く魅せられる。その音楽的な才能は早くから芽生え始め、15歳でプロのミュージシャンとして活動を開始。チュラロンコン大学在学中に「Boy Thai」の創立メンバーとして参加、このバンドはタイの民族音楽と現代の音楽を融合させた新しいタイプの音楽として有名となり、国内外へとその活躍の場

を広げていく。以来、数々の第一線のアーティストたちと活動を共にし、レコーディングミュージシャンとしても数多くのアルバムに参加している。2002年、初のソロ・アルバム「Mr. Saxman」発表。ジャズ、ポップ、フュージョン、スカ、ラテン、タイの民謡などの音楽スタイルを取り入れたこのアルバムは彼の多彩さと、またシンガーとしての隠れた才能を引き出し、さらに収録曲の1曲「Pavana」(My Prayer)は数々のミュージック・チャートの1位を獲得、その人気は今日まで続く。このアルバムの成功により彼の人気は不動のものとなり、日本、中国、欧州、東南アジア各国など海外での活動も豊富である。演奏活動の傍ら後進の指導にも力を注ぎ、自らの音楽学校「Sax Society」ではサクソとジャズの交流なども盛んに行われている。タイ音楽界のスーパースターである。



テイ・チャー・シアン Tay Cher Siang

✳Piano (Malaysia)

クラシックピアノを学んでいたが、10代でジャズに興味を持ち、ジャズ・ピアニストとして活動始める。ウェスト・ヴァージニア大学 (WVU) でジャズ教育学の修士号取得。2004年に行われたWVUヤングアーティストコンテストでの優勝をはじめHERF Top-Off賞、ヴァレリー・キャナディ賞等数々の賞を受賞。同校ジャズ学部の大学院生助手を務めていた頃は、同校のジャズビッグバンドや多彩な小規模アンサンブルを指揮する機会を得る。この時期、ソロで活動する傍ら、WVU Big

Band, Mon River Big Band, Jenny Menna Trio, Washington Street Jazz Band, WVU 交響吹奏楽団等と共演。また、ジャズだけでなくクラシックピアニストとしても多くのグループと共演する一方、作曲・編曲も手がける。現在、クアラルンプールのUCSIおよびTalent Makersで教鞭をとる一方、クアラルンプールのジャズシーンで活躍。Greg Lyonsグループ、The Boplicity, Gruvavenue, Eye-2-Eye Jazz Mix, Rizal Soliano Band他数多くのグループと共演、Khadijah Ibrahim, Junji Delfino, Ida Mariana等ヴォーカリストのサポートも行っている。07年、Malacca Straits Jazz Festival (インドネシア)、Penang Jazz Festival (ペナン)、08年、Mosaic Music Festival (シンガポール) に出演。新進気鋭の若手ジャズピアニストである。



“UNIT ASIA” 東南アジア・ツアー2008 スケジュール

- ◆シンガポール
10月22日[水]、23日[木] シンガポール・コンファレンス・ホール (Conference Hall)
- ◆マニラ (フィリピン)
10月25日[土] マークス (MERK'S Bar Bistro)
10月28日[火] ミュージック・ミュージアム (MUSIC MUSEUM)
- ◆バンダリ・スリ・ブガワン (ブルネイ)
10月31日[金] リズクン・ホテル内 ソンケット・ホール (SONKET HALL)
- ◆クアラルンプール (マレーシア)
11月3日[月]、4日[火] フィルハーモニック・ホール (Philharmonic Hall Petronas)
- ◆チェンマイ (タイ)
11月7日[土] パヤップ大学内 E.C.コート・オーディトリウム (E.C. Court Auditorium)

主催：国際交流基金